

- 1 日時・場所 平成30年12月〇日 (〇)
- 2 学年・学級 2年〇組
- 3 単元名 第3章 日本の諸地域
  - 6 節 東北地方 ー伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受け継ぐ人々の営みー
  - 3 祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり
- 4 単元について

○ 教材観

本単元は、東北地方の地域的特色について、「中学校学習指導要領【地理的分野】(2)日本の様々な地域  
ウ日本の諸地域 (カ)生活・文化を中核とした考察」の視点からとらえさせる単元として設定した。

**中学校学習指導要領 第2章 第2節 社会**

**【地理的分野】**

**2 内容 (2) 日本の様々な地域**

**ウ 日本の諸地域**

日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の(ア)から(キ)で示した考察の  
仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。

**(カ) 生活・文化を中核とした考察**

地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として、それを自然環境や歴史的背景、  
他地域との交流などと関連付け、近年の都市化や国際化によって地域の伝統的な生活・文化が変容  
していることなどについて考える。

**【参考：小学校・高等学校の関連内容】**

**小学校学習指導要領 第2章 第2節 社会**

**【第3学年及び第4学年】**

**2 内容**

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の  
生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした戦時の働きや苦心を考えるように  
する。

**イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事**

**高等学校学習指導要領 第2章 第2節 地理歴史**

**第5 地理A**

**2 内容**

**(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察**

**イ 世界の生活・文化の多様性**

世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解さ  
せるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。

本単元で取り扱う東北地方は、農業や食文化、伝統産業や民族行事など、「生活・文化」に関する事象に  
特色が見られる地域である。また、社会の変化によって、地域の伝統的な文化や生活が変容する様子や、そ  
れを守り育てる活動についてもとらえさせやすい地域でもある。

そこで、「生活・文化」を考察の視点として、自然環境や産業、歴史的背景、他地域との結びつきを関連  
付けて考察することで、地域の特色や生活や文化の変容を考えることができる地域ととらえる。

○ 生徒観

本学級の生徒は、授業に前向きに取り組むことができおり、全体の発表も積極的に行ったり、グルー  
プでの学び合いでも自分の意見を出したりと、主体的に学ぶことができる生徒が多い。

一方、深く学ぶことに関しては課題が多い。資料をじっくりと読み取ることが苦手な生徒も多く、教師の発問に対して思いつきの発言で終わってしまったり、一つ意見を出して満足してしまったりする状況も多々見られる。学習課題に対して、資料をじっくりと読み込んだり、複数の資料を関連させたり、既習の学習と結び付けたり、また他の生徒と自分の意見を関連させたりするなど、多面的・多角的に深く考察する段階までは至っていない生徒が多い。

## ○ 指導観

本単元を指導するに当たって、以下の2点について工夫して指導していきたい。

### ① 主体的に学ぶための工夫

生徒にとって、あまり身近ではない東北地方の地域的特色について、生徒が興味・関心をもってとらえるために、絵や写真、映像などの視覚的な資料を使い学習を進めていく。また、発問により考える問題を絞って、考えやすいようにして進めていく。

### ② 深く学ぶための工夫

「深い学び」にしていくために、「つながる」をキーワードに、事象と事象、意見と意見をつなげることで、多面的・多角的に深く考えられるように指導していきたい。

#### ・つながるポイント①「生徒同士の意見のつながり」

…多角的なものごとをとらえるために、自分の意見を言って終わりではなく、生徒同士の意見をつなげていく。具体的には、小グループを活用し、「グループで1つの意見をつくること」「グループ内の全員が、誰でも全体場で発表できるようにすること」の声かけで、小グループ内の生徒同士の意見をつなげたい。そのために、個人思考の時間は十分にとるとともに、思考がとまっている子を見取り、声かけをしていきたい。また、全体発表の場面では、前の意見とつなげることや、教師がポイントに線を引く等の焦点化を図ることで、グループとグループの考えをつなげて深く考えさせたい。

#### ・つながるポイント②「資料と資料のつながり」

…複数の資料から共通点を探させることで、資料と資料とをつなげて深く考えさせたい。

#### ・つながるポイント③「学習内容と学習内容とのつながり」

…まとめにおいて、ワークシートを活用する。ワークシートには、本時に学習した内容と内容をつなげてまとめられるように、また、本時のねらいにそったまとめとなるように、出だしの言葉を添えることで、つなげて表現できるようにしたい。

#### ・つながるポイント④「本時と前時（既習事項）の学習内容のつながり」

…単元を通して、「生活・文化」を視点に考えることで、本時と既習の学習内容のつながりを意識させたい。また、教師の声かけにより、既習事項を意識して考えさせるようにしたい。

また、主体的・対話的で深い学びとなるよう、学級の雰囲気づくりにも努め、時には意図的指名で発表しやすい雰囲気や、教師の待つ姿勢、間違いから学ぶ姿勢も大切にしながら、単元全体を進めていきたい。

## 5 単元の目標

- ・ 東北地方の地域的特色を、伝統的な生活・文化や災害からの教訓を通して、その自然環境や歴史的背景、他地域との交流などから多面的に考察させる。
- ・ 伝統的な生活や文化は、社会の変化や交通の発達、国際化など他地域との結び付きによって変容していることをとらえさせる。

## 6 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・東北地方の特色について、特に伝統的な生活・文化や災害からの教訓に関心をもち、設定した追究テーマを基に地域的特色を意欲的に追究している。	・東北地方の特色を、生活・文化を中核とし、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・東北地方の生活・文化の変容を、交通の発達や国際化など他地域との結び付きに着目してとらえている。	・東北地方の特色に関する各種資料を収集している。 ・資料から、東北地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、まとめたりしている。	・東北地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ・東北地方について、生活・文化を中核とした考察を基に特色を理解し、その知識を身につけている。

## 7 指導と評価の計画

時	学習活動	評価規準（評価の観点）	《評価方法》
1	<b>東北地方の生活の舞台</b> 東北地方の自然環境にはどのような特色が見られるのか太平洋側と日本海側の違いを中心に説明する。	・東北地方の地形の特色を、山地を中心に川や平地、海岸線との関係からとらえ、理解している。（知識・理解）	《授業観察、定期試験》
2	<b>東北地方の人々の営み</b> 東北地方の人口や産業にはどのような特色が見られるのか資料から読み取る。	・農林水産業が盛んであることや、交通網の発達とともに工業も盛んになっていることを、資料から読み取っている。（技能） ・東北地方の「生活・文化」について関心をもち、これらを意欲的に追究しようとしている。（関心・意欲・態度）《ワークシート》	
3 本 時	<b>祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり</b> 東北地方の伝統行事にはどのような願いがあり、どのように変容してきたのか資料を基に考察する。	・東北地方の伝統行事の起源から、そこに込められた願いや農業と密接な関わりがあることを読み取っている。（技能） ・東北地方の伝統行事が社会の変化にともない、どのように変容しているか、考察している。（思考・判断・表現）	《授業観察、ワークシート》
4	<b>伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業</b> 東北地方の伝統産業は、どのように変化し、どのような課題があるのか説明する。	・東北地方の伝統産業の課題について、後継者不足、生産停滞などの現状を理解している。（知識・理解）	《授業観察、定期試験》
5	<b>過去からの継承と未来に向けた社会づくり</b> 東北地方の未来に向けた街づくりについて、これまでの学習と災害からの教訓を関連させて考察する。	・石碑や伝承などを通して、人々がどのような思いで災害の教訓を受け継ぎ、未来へ向けて生かそうとしてきたのか多面的・多角的に考察している。（思考・判断・表現）	《授業観察、ワークシート》

## 8 本時の目標

- 東北地方の伝統行事の起源から、そこに込められた願いや農業と密接な関わりがあることを読み取る。
- 東北地方の伝統行事が社会の変化にともなって、どのように変容しているか、考察する。

9 授業過程

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
導入 (10分)	1 東北地方の伝統行事を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北各地の祭りの写真や動画を提示し、興味関心を持たせる。</li> <li>・古くから行われてきた行事であること、全国から観光客が集まることを紹介する。</li> </ul>	
展開 (35分)	<p>2 東北各地の祭りに込められた、願いを考察する。</p> <p>つながるポイント (資料と資料のつながり)</p> <p>3 東北の祭りと言業の関連について考察する。</p> <p>つながるポイント (本時と前時等とのつながり)</p>	<p>東北各地の伝統的な祭りにはどのような願いが込められていたのだろうか。</p> <p><b>グループ学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文書資料や写真等、複数の資料(ワークシート資料)を提示し、どのような願いが込められていたか、読み取り、考察させる。</li> <li>・班で協力して、読み取らせる。</li> <li>・ホワイトボードに記入してまとめさせる。</li> </ul> <p>祭りと祭りの共通点に注目させる。</p> <p>ねぶた＝眠気を祓う→秋の収穫を頑張れるように。 竿燈＝米俵→豊作を祈っている。 七夕＝稲が開花する時期、豊作を祈願。 花笠踊り＝田植えの景気づけに踊られていた。</p> <p>↓</p> <p><b>東北地方の祭りは、どの祭りも、農業が上手くいくように、豊作を祈願する願いが込められている。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の祭りにはなぜ農業への願いが込められているのか、資料1～4(配付資料)とこれまでの学習を基に考察させる。</li> </ul> <p>資料1・2＝東北地方が米の収穫量1位。 資料3＝東北地方は第1次産業が占める割合大。 資料4＝東北地方はごはんを食べる習慣が多い。 資料5・6＝東北地方は厳しい自然条件を乗り越えて農業を行っている。 第2時＝東北地方は日本の穀倉地帯。果実生産も盛んに行われている。</p> <p>↓</p> <p><b>東北地方では、農業(特に米作り)が重要な産業であり、厳しい自然の中、人々の努力によって守り続けてきているものだから。</b></p> <p>新しい祭り「東北六魂祭」や「東北絆まつり」にはどのような願いが込められているだろうか。</p>	<p>つながるポイント (生徒と生徒のつながり)</p> <p>・東北地方の伝統行事の起源から、そこに込められた願いや農業と密接な関わりがあることを読み取っている。</p> <p>(技能) 《授業観察 ワークシート》</p>

<p>展開 (35分)</p>	<p>4 新たなかたちで開催されている東北地方の祭りに込められた願いを考察する。</p> <p>つながるポイント (学習内容と学習内容のつながり)</p>	<p><b>個人→グループ学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方の新しい祭りは、どのような願いが込められているのか映像資料やスライド資料等を基に考察させる。</li> <li>・いつから開催されているかに着目させる。</li> </ul> <p>映像資料＝東北六魂祭や東北絆まつりについて スライド資料＝各県持ち回りで開催と開催時期 資料 7～9＝観光客数の増加・経済効果 資料 10＝東北地方の願いがこもった祭り</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の復興を願って</li> <li>・東北の人々が元気になるように</li> <li>・亡くなった方々への鎮魂</li> <li>・東北地方の活性化</li> </ul>	
<p>終末 (5分)</p>	<p>5 東北地方の伝統的な行事が過去から現在にかけて、どのように変化したか、自分の言葉で表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを使い、「東北地方の伝統的な行事は…」 「現在では…」の書き出しで、本時の学習をつなげて、自分の言葉でまとめさせる。</li> </ul> <p><b>東北地方の伝統的な行事は、重要な産業であった農業の豊作などを願って行われていたが、現在では、震災からの復興の思いや東北を活性化させる願いを込めたものに変化してきている。</b></p>	<p>東北地方の伝統行事が社会の変化にともなって、どのように変容しているか、考察している。(思考・判断・表現) 《授業観察ワークシート》</p>